

茨城森林管理署

◆住所:茨城県水戸市笠原978-7

◆電話:029-243-7211

◆管轄区域:茨城県

◆実施場所:茨城県那珂郡東海村

主なねらい

- 1.大正時代に植栽された海岸砂防林において、間伐作業を行うことにより、森林への興味を醸成し、森林の働き、仕組みについて考えるきっかけをつくる。
- 2.海岸林を観察し、この森林により、飛砂や、潮風が遮られ、民家や、田畑が作られていること、また、海岸林が、大正時代から、地域住民の絶え間ない努力により造られた歴史を理解し、森林と人間の関係、環境保全について考えるきっかけをつくる。
- 3.間伐を行うことにより、林相が一変する様子を観察し、森林の健全性、機能の維持などに間伐が必要なことを理解し、森林の生態系、循環について考えるとともに、先人の努力により造られた森林を自分たちが行った間伐により、次の世代に引き継ぐことへ貢献することができる。

地域等の特色

村松海岸は、かつて海風が強く吹き付ける土地であったが、大正時代に河田農学博士の指導の下に地域住民の努力により今の海岸林が完成した。

地元東海村教育委員会と東海村立志式実行委員会では、14歳という立志の歳の生徒を対象に、先人の遺業を再確認するとともに、大人への第一歩を自覚する「村松海岸砂防林にかかる郷土ふれあい事業」を実施している。

国有林の特色

天然林や人工林など様々な体験林業、森林教室の目的に対応した森林をフィールドとして提供できる。

村松海岸砂防林



森林・林業に関する情報、地域の森林の歴史、自然、植物観察、間伐などの林業作業の技術について指導、提供ができる。

参考データ

- 対象:中学2年生
- 参加人員:350名(生徒)+90名(指導者等)
- 実施時期:11月~12月上旬
- 天候:降雨時以外
- 所要時間:3時間程度

第1日目

第2日目



第1日目

時間	基本スケジュール
15:00~16:00	(生徒)授業の1時間分 森林教室森林の役割、間伐の必要性、方法 (指導者)現地での間伐指導

第2日目

13:30	集合 挨拶 概要説明 間伐作業
15:30	終了

*その他/このプログラムは、茨城県東海村立東海中学校及び東海南中学校2学年の生徒が行った体験林業です。

